

協会けんぽの2020(令和2)年度決算見込み(医療分)について

<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

令和3年7月2日
全国健康保険協会

<全体の収支状況>

- 2020年度は収入(総額)が10兆7,650億円、支出(総額)が10兆1,467億円となり、収支差は6,183億円となりました。

<収入の状況>

- 収入(総額)は前年度から1,047億円の減少となりました。主に「保険料収入」が1,321億円減少したことによるものですが、これは、
 - ① 被保険者数の伸びが急激に鈍化し、賃金についても、「標準報酬月額」は、例年であれば定時決定(9月)後に増加するところ2020年は緩やかに減少したため、9月以降は対前年同月比でマイナスとなっていることや、「賞与(支払い月数)」が減少した影響と、
 - ② 新型コロナウイルス感染症等の影響により保険料の納付が困難な場合に、特例として保険料の納付が猶予される制度によって、一部の保険料の納付が猶予されていることが主な要因です。

<支出の状況>

- 支出(総額)は前年度から1,831億円の減少となりました。
- 支出の6割を占める保険給付費(総額)については、前年度から1,799億円減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による加入者の医療機関への受診動向等の変化の影響等によって「医療費(加入者1人当たり医療給付費)」が減少したことが主な要因です。
- 支出の4割を占める高齢者医療に係る「拠出金等」については、376億円の増加にとどまりました。これは、人口の年齢構成の影響により、後期高齢者の人数の伸びが一時的に鈍化することが主な要因です。